

た正しく け健康に の伸びやかな こ個性あふれる 学年

学年だより

練馬区立石神井西中学校

令和7年度 第2学年(みどり学年)

第4号 令和7年 5月9日(金)

暑さを感じる日々になってきました。

新学期がスタートし疲れを感じ始めていた4月末でしたが、5月の連休で少しリフレッシュできたでしょうか。気温も少しずつ高くなってきており、心地良さから暑さを感じる日々に、早くも夏の訪れを感じるような日々となっています。熱中症にも気をつけ、暑さへ少しずつ体を慣らしていきましょう。

さて、学校では運動会に向けた取組みが少しずつ進み、来週からは本格的に運動会練習が始まります。運動会の選手決めやリレーの走順を実行委員が中心となり各クラスで決めています。行事に一生懸命取り組むことで得られる様々な経験を今年もしてほしいと思います。そして、西中が誇る生徒主体の運動会を全員の力を結集させ、成功させましょう！

保護者会ありがとうございました。

4月25日(金)に保護者会を開催しました。たくさんの方にご来校いただきありがとうございました。新学年となり、新たな環境で過ごす様子を感じていただけたでしょうか。保護者会でお伝えした諸連絡をこちらに掲載しますので、ご確認ください。

①修学旅行の積み立て手続きについて(別紙の案内(動画説明あり)がありますのでご確認ください。)

→ **5月1日(木)～15日(木)**が申し込み期間です。申し込みの期日を過ぎた場合は、積み立ては実施できません。その場合は、3年生になってから、修学旅行1～3ヶ月前に振り込み(一括払い)となります。

※修学旅行は、**2026年9月5日(土)～7日(月)** 宿泊場所：**聖護院御殿荘** で実施予定です。

②職場体験について(事前学習【職業調べ】を実施しています。)

→ **9月17日(水)～19日(金)**で実施します。

今年度は、サポートサービスの会社と連携して実施します。希望調査をもとに、体験先を決めていきます。

③校外学習について

→ **12月19日(金)**に実施します。昨年度末の年間行事予定から日程が変更となりました。

④スキー教室について

→ **2月22日(日)～24日(火)**で実施します。

学年末考査が終了して、すぐにスキー教室です。事前学習は12月頃から実施予定です。

⑤その他

→運動会はお弁当が必要です。

5月31日(土)に実施します。**【予備日：6月4日(水)、第2予備日：6日(金)】**

→My学ノートを開始しました。今年度は、内容は探究学習とし、週に1回の提出に形態を変えました。

→5月7日(水)に実施した「いのちの授業」に関するお知らせ。

◎修学旅行の積み立てに関しては、期日を過ぎると積み立ての手続きができませんので、申し込まれる方は期日内に忘れずにお申し込みください。

今後の予定

時間割は変更になることもあります。毎日、翌日の予定を確認しましょう。
提出物は早めの提出にご協力ください。

日 付	内容	日 付	内容
5/12(月)	6時間授業 朝礼(8:20登校目安) ※腎臓病検診(一次2回目)	5/19(月)	6時間授業 生徒会朝礼(8:20登校目安) 教育実習開始
5/13(火)	6時間授業 中央委員会 昼:大縄練習あり	5/20(火)	6時間授業 昼:石西レース練あり
5/14(水)	4時間授業 ※給食後下校 区中研一斉部会	5/21(水)	5時間授業 眼科検診
5/15(木)	6時間授業	5/22(木)	6時間授業 耳鼻科検診 ※体育着登校 1,2校時:学年練習 昼:大縄、選抜リレー練習
5/16(金)	6時間授業 ※体育着登校 3校時:学年練習 6校時:全校練習	5/23(金)	6時間授業 ※体育着登校 腎臓病検診(二次) 4校時:学年練習 6校時:全校練習
5/17(土)	休業日	5/24(土)	休業日

※体育着登校があります。運動会練習期間中は、体育着の洗濯が間に合わない場合には、ワンポイントの白いTシャツを着用して構いません。

※汗ふきシート等は無香料のみになります。また、日焼け止めは化粧成分の含まれないもののみになります。ご協力お願いします。

学校生活



いのちの授業(5月7日)

知ることは守ること

~正しい知識で自分を大切に~

練馬区助産師会の講師の先生から性に関する正しい知識を詳しく教わりました。



運動会選手決め

各クラスで運動会実行委員を中心に出場種目を決めました。
一人一人が活躍する運動会にしていきましょう!



~学年主任のつぶやき~

生活の慣れから、「これくらい大丈夫」「見つからなければ大丈夫」の間違った方向の判断が増え始めているように感じます。
慣れてきて見通しがもてることは大きな成長です。一方で、ルールとして明記されていないことに対する感覚を磨くにはどのようにしたらよいかを考える日々です。